

技能人材*にフォーカスした「就労者に対する日本語教師初任研修」

AOTS 研修プログラム科目一覧

*本研修プログラムでは、技能実習、特定技能、特定活動（EPA 候補者等）、技術研修生などの外国人就労者を「技能人材」と呼びます。

※以下の情報は一部変更の可能性もございます。

日程・時間	科目名	講師/所属等	研修目的・内容
8/29(土) am9:00- am11:35	オリエンテーション	AOTS 教師研修事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション（日程、研修科目、受講方法、提出物、修了要件等） ・研修受講前における就労者に対する日本語教師に求められる資質・能力についての自己評価を行う。
	就労者に対する日本語教育概論	杉山充 AOTS 日本語教育推進第1グループ グループ長	<ul style="list-style-type: none"> ・就労者の多様性とその日本語教育の特徴・重点課題を理解する。 ・AOTS の研修を例に各自の日本語教育に携わる立場や役割をイメージする。
	事務局 Q&A	AOTS 教師研修事務局	
9/5(土) am9:00- am11:35	外国人就労者に関わる制度	市村信之 公益財団法人 入管協会 専務理事	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人就労者の制度の基礎知識（在留資格・条件、労働関連法など）を理解する。 ・外国人就労者受け入れ制度の課題、外国人就労者受け入れ企業で生じている問題（メンタルヘルス・海外との社会保障制度の違い等）について知る。 ・育成就労の制度に関する最新情報も含める。
	職種・職位によって求められる日本語教育 -制度における日本語能力要件-	杉山充 AOT 日本語教育推進第1グループ グループ長	<ul style="list-style-type: none"> ・技能実習生や特定技能外国人材が日本で働きキャリアを形成する際に制度上求められる日本語能力要件や企業側が講じる日本語学習の支援について理解する。 ・就労者が受験する日本語能力を測る試験や技能を測る試験の概要、試験サンプルや学習リソースへのアクセス方法を理解した上で、日本語教師に何が期待されるか考える。
	コミュニケーション能力を養成する -行動中心アプローチに基づいた教授法-	小川靖子 AOTS 日本語教育推進 第1グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本語教育の参照枠」の基盤となっている行動中心アプローチに関して、その目的・特徴について理解する。 ・行動中心アプローチに基づいた教材の活用法や教授法を知り、自己の教育実践現場で具体的に活用する方法を考える。 ・実践現場での教授法に関するグループディスカッション
9/12(土) am9:00- am11:35	【事例研究】 外国人介護人材の就労と日本語教育	白井孝子 学校法人滋慶学園 教育顧問	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人介護人材の受入れに関する社会背景や制度、介護福祉士の資格や在留資格、業務内容について理解する。 ・介護施設の利用者やそこでの一日の生活、介護知識・技術について知り、日本人職員とのコミュニケーション場面において求められる日本語能力について理解した上で、介護職種を事例に職種別日本語教育をどのように実践するか考える。

9/12(土) am9:00- am11:35	【事例研究】 介護人材向けの専門日本語教育 -介護の就 労者向けウェブ教材「にほんごをまなぼう」を 例に-	小林亨 日本介護福祉士会 国際介護人材支援 主査	・ウェブサイト「にほんごをまなぼう」に実際にアクセスし、 同教材の対象者、構成、内容、種別(外国人向け学習コ ンテンツ・日本人向け手引き)を理解する。 ・外国人介護人材向けのカリキュラムやコースデザインを 作成する際に、同ウェブサイトを教材リソースとして効果 的に活用する方法を考える。
	技能実習・特定技能のための仕事・生活の日 本語教育 -教材『あたらしいじっせんにほんご』を例に-	新野佳子 国際日本語普及協会(AJALT)	・教材『あたらしいじっせんにほんご』を実際に手に取 り、同教材の構成や特徴、教え方について理解し、就労 者に対する指導法の一つとして同教材の活用方法を理 解する。 ・グループディスカッションを通して就労者に対する日本 語教授法について考えを深める。
9/19(土) am9:00- am11:35	生活・就労者の日本語教材 -『いろいろ 生活の日本語』を例に-	笠井陽介 国際交流基金 関西国際センター 日本語教育専門員	・在留資格「特定技能」等で来日する就労者が日本で の生活場面で求められる基礎的な日本語コミュニケーシ ョン力を養成するための教材『いろいろ 生活の日本語』 の構成や活用方法を理解する。
	就労現場でのコミュニケーション能力を高める ための指導法 -教材『ゲンバの日本語』を例に-	内海陽子 AOTS 日本語教育推進第2グ ループ	・教材『ゲンバの日本語』を実際に手に取り、同教材の 対象者と教材の概要と特長、構成について理解する。 ・AOTS の技術研修生向けの日本語教育を例として、コ ミュニケーション能力を高める指導方法、教材活用を理 解する。 ・教材理念に基づく対学習者・教師間の対応について考 えを深める。 ・実際に指導する際の留意点について考え、同教材の効 果的な指導法の理解を深める。
	職種別の日本語の指導法 -ウェブ教材/アプリ「げんばのにほんご」(外 国人技能実習機構)を例に-	飯塚知子 AOTS 日本語教育推進第1グ ループ	・ウェブ/アプリ教材「げんばのにほんご」(外国人技能実 習機構)に実際にアクセスし、同教材の構成や特徴につ いて理解する。 ・講義やグループディスカッションを通して同教材の具体 的かつ効果的な指導法について考えを深める。
9/26(土) am9:00- pm10:40	外国人の受け入れ政策と日本語教師	神吉宇一 武蔵野大学 教授	・外国人材受入れに関する法律や政策、背景となる日本 の社会状況に目を向ける。 ・就労者に対する日本語教育を行う日本語教師・日本語 教育関係者としての役割を多角的かつ具体的に考える。
	就労現場における異文化受容・異文化適応	近藤彩 昭和女子大学 教授 同大学日本語教育センター長 同大学院文学研究科 研究科長	・異文化接触における個人及び集団への影響や異文化 受容態度について理解する。 ・就労外国人の職場で生じるトラブルの具体例を知り、支 援の方向性について考える。
10/3(土) am9:00- pm12:30	就労者に対する日本語教育実践現場 -同研修プログラム修了者による発表-	同研修プログラム修了者 森歩 フリーランス日本語講師 永島恭子 一般社団法人ふくしま多言語 フォーラム	・就労者に対する日本語教育の実践現場での取り組みや 工夫、課題や問題を知る。 ・修了者が本研修プログラムで学んだことをどのように活 かしているかを知ること、研修の活用方法をイメージす る。

	意見交換交流会	受講者間	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数グループに分かれて修了者プレゼンの感想を伝え合うとともに、自身の日本語教育実践での取り組みや課題を紹介する。 ・研修プログラム途中における振り返りを受講者間で行う。
10/17(土) am9:00- am11:35	技能人材と語彙学習 -どんな言葉の学習が必要か考える-	飯塚知子 AOTS 日本語教育推進第1グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・技能人材が就労するうえで必要となる言葉の特徴、既存の語彙教材を知る。 ・既存の語彙教材を用いた指導方法・学習方法を知り、自身の活動や自律学習支援に役立てられるようにする。
	技能人材と会話学習 -コミュニケーションストラテジーが学べる会話を考える-	飯塚知子 AOTS 日本語教育推進第1グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・技能人材が就労現場で必要とされる日本語や日本人社員とのコミュニケーションの特徴を理解した上で、どんなコミュニケーションストラテジーが必要かを考える。 ・就労現場で必要なコミュニケーションストラテジーを探ることができ、会話を教える際に取り入れることができるようになる。 ・コミュニケーションストラテジーを意識した会話学習のための学習活動デザインの考えを深める。
	就労者に対する自律学習支援とスローラーナーへの対応 -AOTSでの技術研修生やEPA候補者への実践を事例にして-	常次亨介 AOTS 日本語教育推進第2グループ グループ長	<ul style="list-style-type: none"> ・就労者向け日本語教育における自律学習支援の必要性を理解し、AOTSの事例をもとに自身の教育実践でどのような支援ができるかを考える。 ・AOTSの日本語研修を事例に、日本語学習に困難を抱える就労者の状況を理解し、スローラーナーへの対応や支援を考える。
10/24(土) am9:00- am11:35	就労者の日本語学習に対する評価 -行動能力目標とパフォーマンス評価-	内海陽子 AOTS 日本語教育推進第1グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本語教育の参照枠」及び「就労 Cando」について理解を深めた上で、それを就労者に対する日本語教育に応用する方法についてAOTSの事例を通して理解する。 ・就労現場で必要な行動能力目標とそれに対応するパフォーマンス試験を行うにあたり、それぞれの就労現場に即した試験の実施に関する検討・計画についての考えを深める。
	企業に伝わる報告書作成	矢島康江 AOTS 日本語教育推進第2グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教育を専門としない企業や職場関係者に、就労者の日本語学習状況や学習の成果、継続学習のアドバイスとして何を伝えるか、どうすれば伝わるかを理解する。 ・クライアントが理解できる報告ができるようになるため、報告書サンプルをもとに日本語教育の専門用語を非専門家にも理解できる言い換え・書き換えの修正練習に取り組む。
	事務局 Q&A	AOTS 教師研修事務局	

	技能人材向けのコースデザイン 演習 (導入)	澤田竜人 ECC 国際外語専門学校 留学生事業部副責任者	・本研修の演習で就労者に対する日本語教育コースデザインを作成するために必要なニーズ及びレディネスの分析・検討、目標設定などの基礎知識や重点課題、注意点を理解する。 ・本研修の各科目で学んだ知識及び技能をコースデザインに応用する意識を高める。
10/31(土) am9:00- pm12:30	技能人材向けのコースデザイン 演習	澤田竜人 ECC 国際外語専門学校 留学生事業部副責任者 小谷昌彦 合同会社おぞら日本語サポート 代表社員 高橋華奈 AOTS 登録日本語教師 榎原智子 日本語教育支援グループ 「ことのは」 秋川仁美 ECC 国際外語専門学校 主任教員	・本研修の各科目で得られた基礎知識や指導法、教材リソース等の内容を応用し、ある就労者を想定したコースデザイン作成の活動を通して、実際に技能人材への日本語教育内容や評価・フィードバック方法、シラバス・カリキュラムデザインを検討する。
11/7(土) am9:00- pm12:30	技能人材向けのコースデザイン 演習	澤田竜人 ECC 国際外語専門学校 留学生事業部副責任者 小谷昌彦 合同会社おぞら日本語サポート 代表社員 高橋華奈 AOTS 登録日本語教師 榎原智子 日本語教育支援グループ 「ことのは」 秋川仁美 ECC 国際外語専門学校 主任教員	・本研修の各科目で得られた基礎知識や指導法、教材リソース等の内容を応用し、ある就労者を想定したコースデザイン作成の活動を通して、実際に技能人材への日本語教育内容や評価・フィードバック方法、シラバス・カリキュラムデザインを検討する。
11/21(土) am9:00- pm12:30	技能人材向けのコースデザイン 演習	澤田竜人 ECC 国際外語専門学校 留学生事業部副責任者 小谷昌彦 合同会社おぞら日本語サポート 代表社員 高橋華奈 AOTS 登録日本語教師 榎原智子 日本語教育支援グループ 「ことのは」 秋川仁美	・本研修の各科目で得られた基礎知識や指導法、教材リソース等の内容を応用し、ある就労者を想定したコースデザイン作成の活動を通して、実際に技能人材への日本語教育内容や評価・フィードバック方法、シラバス・カリキュラムデザインを検討する。

		ECC 国際外語専門学校 主任教員	
12/5(土) am9:00- pm12:30	技能人材向けのコースデザイン 演習 (発表)		<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの発表 ・他の受講者との協働を通して多様な日本語教育観に触れ、自身の日本語教育観や教育実践を内省し発展させる。
12/12(土) am9:00- am10:40	研修の振り返り、ネットワークづくり	杉山充 AOTS 日本語教育推進第1グループ グループ長	<ul style="list-style-type: none"> ・研修受講を通して得られた自身の学びを振り返り、それを受講者間で共有することで学びを再構成する。 ・今後、就労者に対する日本語教育に携わる上で、どのような学びが必要かを考える。 ・研修受講後における就労者に対する日本語教師に求められる資質・能力について自己評価を行う。 ・研修終了後も受講者間のネットワークを維持し、講師間のつながりの中で学び続けることの重要性を理解する。 ・研修受講を通して得られた自身の学びを振り返り、それを受講者間で共有することで学びを再構成する。 ・今後、就労者に対する日本語教育に携わる上で、どのような学びが必要かを考える。 ・研修受講後における就労者に対する日本語教師に求められる資質・能力について自己評価を行う。 ・研修終了後も受講者間のネットワークを維持し、講師間のつながりの中で学び続けることの重要性を理解する。